



2025 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 E d u L a b

代 表 者 名 代表取締役社長兼 CEO 廣 實 学

(コード番号：4427 東証グロース)

問 合 せ 先 取 締 役 C F O 川 瀬 晴 夫

(TEL. 03-6635-3101)

2025 年 9 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は最近の業績の動向等を踏まえ、連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2025 年 9 月期通期連結業績予想修正数値 (2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 6,000	百万円 50	百万円 10	百万円 △350	円 銭 △34.25
今回修正予想 (B)	6,000	230	160	△50	△4.89
増減額 (B－A)	—	180	150	300	
増減率	—	360.0%	1,500.0%	—	
(ご参考) 前年実績 (2024 年 9 月期)	7,141	△325	△492	△1,273	△124.61

2. 修正の理由

2025 年 9 月期第 2 四半期 (中間期) の当社グループの経営成績は、売上高 2,953,924 千円 (前年同期比 11.0%減)、営業利益 171,409 千円 (前年同期は営業損失 261,451 千円)、経常利益 236,111 千円 (前年同期は経常損失 225,209 千円)、親会社株主に帰属する中間純利益 178,680 千円 (前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失 269,864 千円) となり、黒字化しました。

2025 年 9 月期第 2 四半期 (中間期) は、主に 2024 年 9 月期に撤退した教育プラットフォーム事業における減収の影響により、売上高は前年同期比で減少しましたが、テストセンター事業、AI 事業及びテスト運営・受託事業は堅調に推移しました。費用面では、業務委託費や人件費の削減等により売上原価、販売費及び一般管理費が減少し、営業利益は増益となりました。また、外国為替相場の変動に伴い、為替差益が生じたことにより、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益は増益となりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益が 300,000 千円改善している主な要因は、経常利益の改善による 150,000 千円に加え、法人税、非支配株主持分利益を精査した結果による増加要因 150,000 千円の見通しによるものです。

以上、上半期の堅調な業績回復を踏まえ、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の通期連結業績の予想を上方修正することとしました。

引き続き、中計の 3 つの構造改革 (①事業構造改革、②コスト構造改革、③組織体制・企業風土改革) を着実に実行し、持続的成長を図ってまいります。

以 上